

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 5 月 18 日 作成
 21年度決算把握後 平成 22 年 月 日 作成

事務事業名		下水道市債管理(利子償還)事務				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連								
総合計画体系	政策	2	緑豊かな環境と共生するまちづくり			所属部	水道局	課長名	久留 伸二					
	施策	10	水環境の保全			所属課	上下水道課	担当者名	主事 中山 大志					
	基本事業	28	水質の浄化			所属班	庶務料金班	(内線)	1194					
予算科目	会計	50	款	3	項	1	目	1	事業連番	10222	法令根拠	地方財政法	成果優先度評価結果	11
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 53 年度)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		コスト削減優先度評価結果 : 6						

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細、期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	下水道事業の財源となる地方債の借入、償還計画作成、地方債償還、電算による台帳管理事務 合併前の旧団体にて、下水道事業に係る起債償還事務を開始 昭和58年～平成2年度までに起債借入利率のピーク7～8%があり、近年度では2%を切っている。ピーク時の高利については、平成19年度から平成20年度にかけて、補償金免除の繰上償還制度を利用して公債費の将来計画を見越した負担減を実現している。 下水道使用料金決定事務にて、平成20年度に下水道使用料の統一を行い、雨水処理費にかかる償還金利子への基準外繰入金を軽減していく。
【業務の流れ】	地方債の計画、協議、同意、申請、借入、償還、電算による台帳管理
【主な予算費目】	償還金利子及び割引料
【意見や要望】	特になし
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
① 手段(主な活動)	21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)		
<ul style="list-style-type: none"> 平成21年度下水道事業実施に係る財源としての地方債の借入 下水道事業で借入れた起債の償還計画に基づく利子償還 電算による台帳管理事務 	<ul style="list-style-type: none"> 平成22年度下水道事業実施に係る財源としての地方債の借入 下水道事業で借入れた起債の償還計画に基づく利子償還 電算による台帳管理事務 		
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)		⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)	
⇒ ア:地方債借入額(一般債) (単位)		⇒ ア:年度末地方債残高(利子) (単位)	
⇒ イ: (単位)		⇒ イ: (単位)	
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 (単位)		⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)	
・地方債残高(利子) (単位)		⇒ ア:公債率(歳出)利子 (単位)	
⇒ イ: (単位)		⇒ イ: (単位)	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) (単位)		⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)	
・下水道事業の経営の健全化を図る (単位)		⇒ ア:公債率(歳出)利子 (単位)	
⇒ イ: (単位)		⇒ イ: (単位)	
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠			
下水道事業において、歳入に占める地方債の償還金の割合が高くなれば、将来にわたり下水道事業の経営を圧迫し、財政の硬直化が進んでしまうので、公債率の低下を成果目標とするのが妥当である。目標値については元利均等償還による元利金の算出に基づいている。			

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度実績(決算)	20年度実績(決算)	21年度目標(当初予算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	23年度予定	24年度見込
④ 活動指標	ア	千円	361,200	193,800	379,200	313,900	346,800	345,200	343,600
	イ								
⑤ 対象指標	ア	千円	2,849,740	2,516,520	2,239,114	2,233,463	2,107,113	1,855,349	1,620,464
	イ								
⑥ 成果指標	ア	%	18	15	15	16	14	15	14
	イ								
事業費	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円	116,265	133,891	164,757	141,274	179,807	125,000	104,886
	繰入金	千円	265,443	200,093	121,241	141,901	93,675	130,000	130,000
	一般財源	千円							
	(A) 事業費計	千円	381,708	333,984	285,998	283,175	273,482	255,000	234,886
(A)のうち指定経費	千円	381,708	333,984	285,998	283,057	273,482	255,000	234,886	
(A)のうち時間外、特勤	千円								
人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3	3	3	3	3
	延べ業務時間	時間	110	110	100	100	90	90	90
	(B)人件費計	千円	437	440	398	398	358	358	358
トータルコスト(A)+(B)	千円	382,145	334,424	286,396	283,573	273,840	255,358	235,244	

総トータルコスト	
全体計画	
～ 年度	
(期間限定複数年度のみ記載)	
	0
	0
	0

谷志市

事務事業名	下水道市債管理(利子償還)事務	所属部	水道局	所属課	上下水道課
-------	-----------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

平成20年度に下水道使用料の改定を行っているが、近隣市町村や全国の類似団体と比較しても未だに適正な価格より低料金であると判断されるので、使用料を適正に徴収し、自主財源の確保に努める必要がある。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 平成20年度に下水道使用料の改定を行っているが、近隣市町村や全国の類似団体と比較しても未だに適正な価格より低料金であると判断されるので、使用料を適正に徴収し、自主財源の確保に努める必要がある。	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>△</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			△	低下			△
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持			△																				
	低下			△																				

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
 償還額はピーク期にあるが、下水道施設の改築更新等下水道事業は必要であり継続し、償還額の大部分は一般会計からの繰入金で賄われており、財源確保が課題である。
 平成19年度及び20年度に公的資金補償金免除に伴う繰上償還を実施した。